

アサヒビール大山崎山荘美術館

施設管理者 : アサヒビール芸術文化財団

施設所在地 : 京都府乙訓郡大山崎町

調査見学時期 : 平成 22 年 11 月 26 日

施設概要

天王山の中腹に位置し、木津・宇治・桂川の三川を望む「大山崎山荘」。当美術館は、大正から昭和初期にかけて加賀正太郎によって建築された「大山崎山荘」（登録有形文化財）を本館として、建築家・安藤忠雄設計による新館（1995年竣工）とともに公開しています。

その新館は「地中の宝石箱」とも呼ばれる、地中に位置するギャラリーです。円柱形のギャラリーは半地下で、円柱上部は植栽が施されています。これにより、ギャラリーとまわりの景観との調和が生まれました。安藤忠雄氏は環境に配慮して新館を地中に配しました。

新館と本館とは通路で結ばれます。通路はコンクリート打放しでつくられ、両側を高い壁に囲まれた階段を下りると、地中のギャラリーに着きます。階段通路の上部四方と正面にガラスを使っているため、まわりの木々の緑が美しく目に入ります。光の中を地下に下りると、円形の展示室となっております。

展示室上部中央には丸い天窓があり、ギャラリー内に一筋の光を呼び込みます。



写真-1 新館 円形ギャラリー上部



写真-2 新館 ギャラリー側面

本館では、民藝運動に参加した河井寛次郎、濱田庄司、バーナード・リーチの作品を中心に、古陶磁、家具、染色作品などを、新館では印象派のクロード・モネの代表作として知られる『睡蓮』の連作を展示しています。あわせて年に数回の企画展や、地域と連携したイベントを随時開催しています。また、約 5500 坪の敷地面積を有する庭園には数多くの植物が配され、四季折々に眼を楽しませてくれます。

<お問い合わせ先>

アサヒビール大山崎山荘美術館

〒618-0071 京都府乙訓郡大山崎町銭原 5-3

TEL : 075-957-3123(総合案内) FAX : 075-957-3126

<http://www.asahibeer-oyamazaki.com>